

就職先からの卒業生評価アンケート調査報告（抜粋） （2024 年度実施）

報告：キャリア支援委員会

□ 調査時期：2024 年 8 月 1 日～2024 年 8 月 31 日

□ 調査方法：Google フォームによる回答

調査内容：①本学卒業生の在籍状況
②新卒採用の際に重視している点
③本学卒業生の評価 ②③の比較
④学生へのメッセージ【学生時代に経験・学んでおくべきこと】
⑤学生へのメッセージ【貴組織の求める学生像等について】
⑥滋賀短期大学のイメージ

1. 調査の目的

「就職先からの卒業生評価アンケート」（以下「本アンケート」と表記する）では、企業（園・施設・医療機関等含む）が新卒採用の際に重視している点と、本学卒業の在職者評価を依頼する。双方を対比することで、今後の人材育成の指針を探ることを目的としている。また、卒業後 3 年目の卒業生（2022 年 3 月卒業）の就職先に限定して、現在の在籍状況も調査の対象とした。

2. 調査の対象

2022 年 3 月卒業生：269 名中、就職内定者 231 名（生活学科：45 名、幼児教育保育学科：111 名、ビジネスコミュニケーション学科：75 名）のうち、公務員・配属先不明・入社すぐ退職者除く、「208 名の学生を採用いただいた就職先 176 社（一般企業・医療機関、幼稚園教諭・保育士・保育教諭、栄養士、製菓・製パン）」に実施した。

3. 対象送付件数及び有効回答数

対象組織・区分	送付件数	卒業対象者	有効回答数	参考：昨年度 有効回答数
A 企業・医療機関(施設含)	82	92	51 (62.2%)	41(48.8%)
B 幼稚園教諭・ 保育士・保育教諭	73	87	45 (61.6%)	37(68.5%)
栄養士	13	19	8 (61.5%)	8(47.1%)
製菓・製パン	8	10	5 (62.5%)	2(20.0%)
合 計	176	208	109 (61.9%)	88(53.3%)

前年度比：有効回答数 21 (8.6%) アップ

4. 調査の結果報告

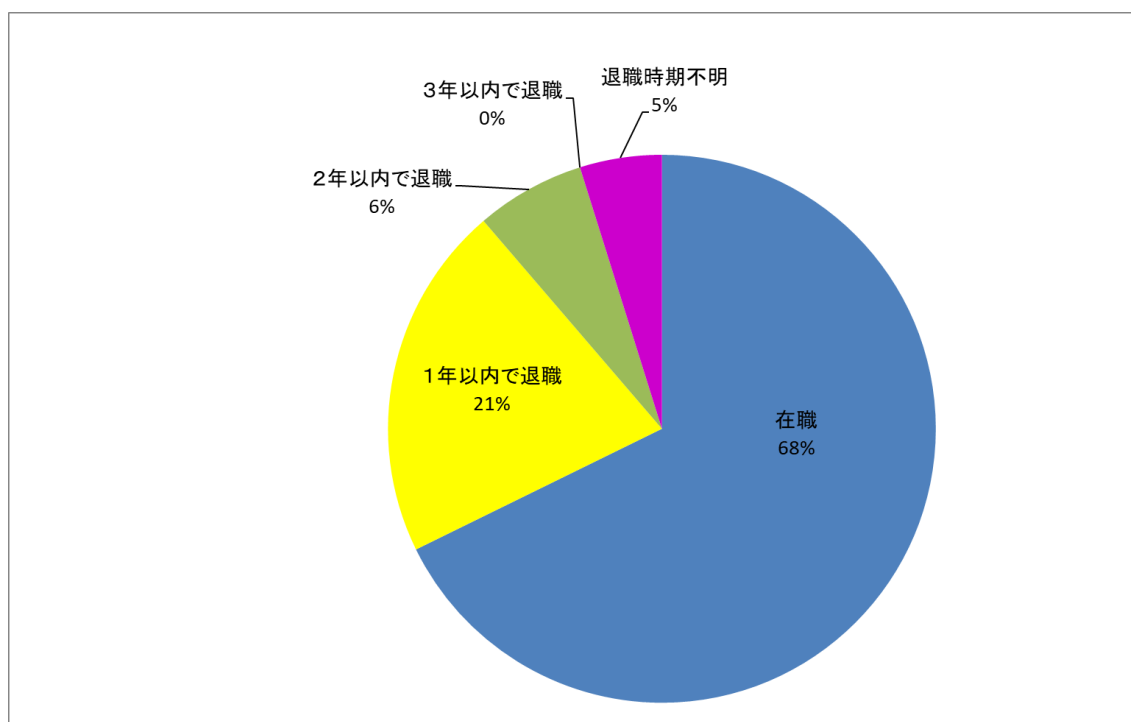
調査報告は、A 企業・医療機関対象と B 幼稚園教諭・保育士・保育教諭対象に分けて行う。
栄養士、製菓・製パン関連については、有効回答数が少ないため、④学生へのメッセージ【学生時代に経験・学んでおくべきこと】、⑤学生へのメッセージ【貴組織の求める学生像等について】、⑥滋賀短期大学のイメージのみを掲載する。

①本学卒業生の在籍状況

【A 企業・医療機関対象】

【卒業生の在職状況】

企業・医療機関対象

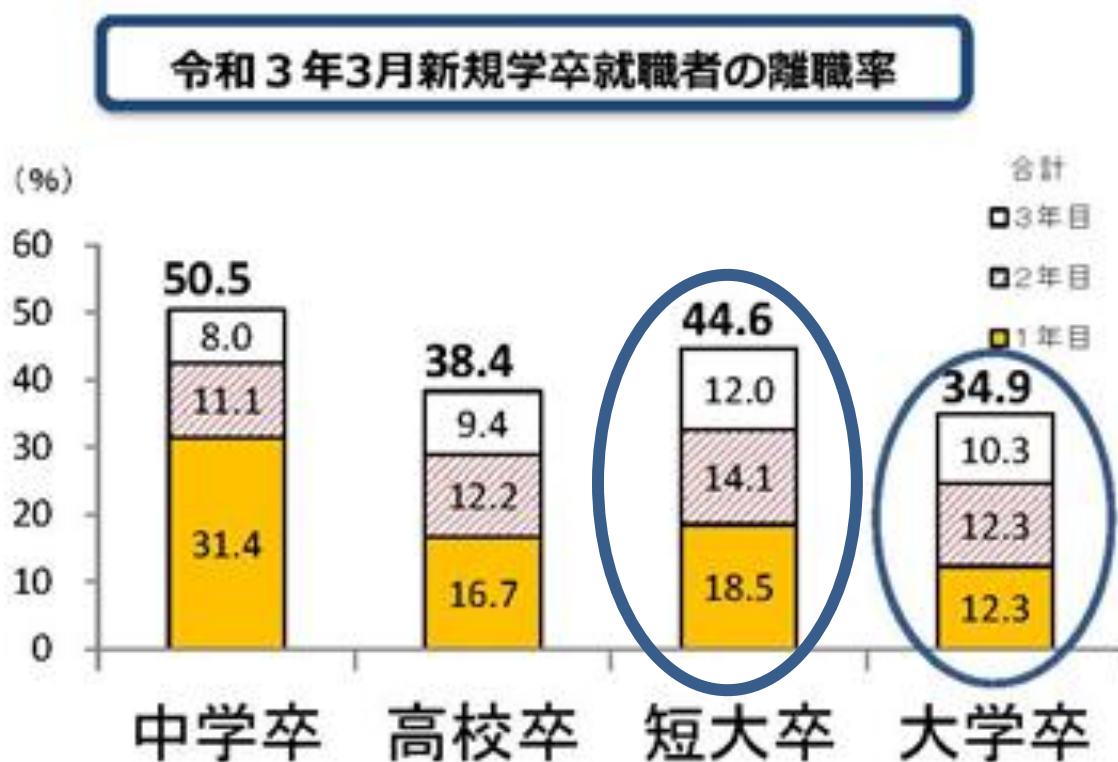


企業・医療機関	在職	1年以内で退職	2年以内で退職	3年以内で退職	退職時期不明
2024 調査 (2022 年 3 月卒)	68% 前年比 18%増	21% 前年比 2%増	6% 前年比 21%減	0% 前年比 4%減	5% 前年比 5%増
2023 調査 (2021 年 3 月卒)	50%	19%	27%	4%	0%
2022 調査 (2020 年 3 月卒)	66%	21%	9%	2%	2%

2024 調査（2022.3 卒）の在職者数は 7 割を占めており、厚生労働省の短大卒の在職率より高い数値である。3 年間比較では、昨年度まで在職率が減ってきていたが、今年度の調査では在職率がよい結果となった。一方で、1 年以内の退職比率が 2022 調査と同じ 21%となっている。継続して働いている人がいる一方で、1 年以内で退職する卒業生が一定数おり、原因として、企業研究が不

十分な可能性が考えられる。本学では、引き続き、企業研究が不十分なまま就職活動を終えないよう今後もインターンシップへの参加等を奨励し、就職支援講座等で企業に対する事前研究の重要性を周知していきたい。

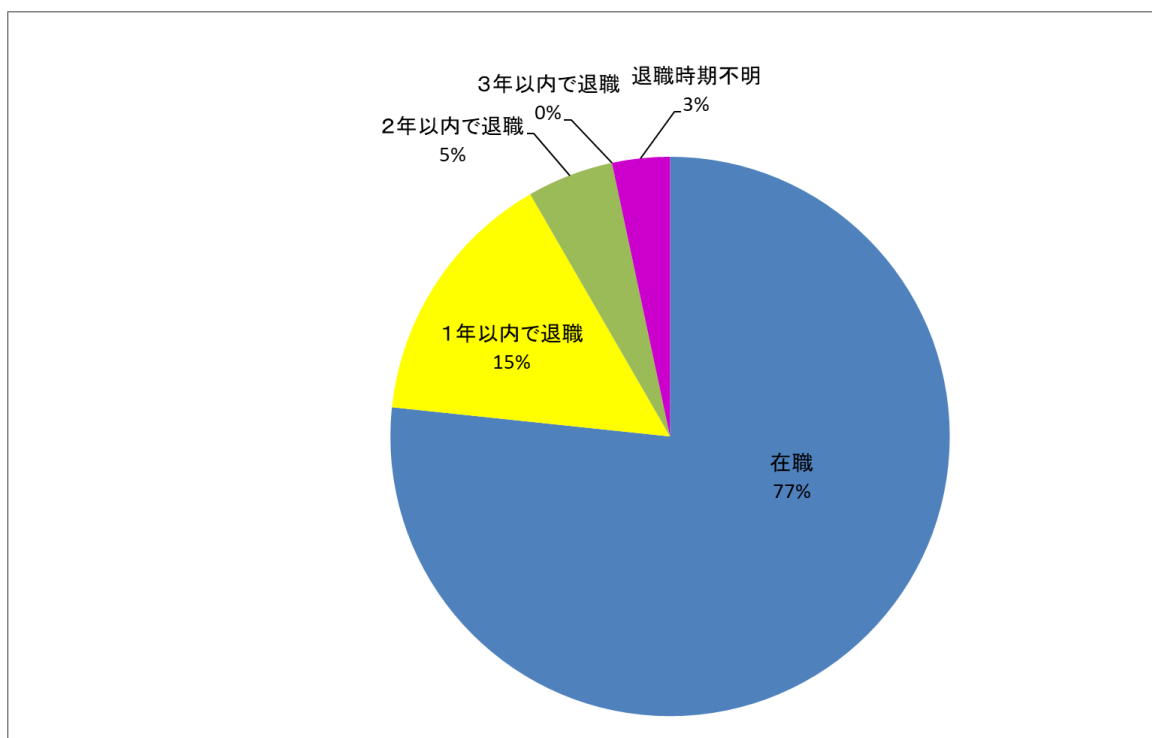
厚生労働省職業安定局集計（次表）の「令和 3 年 3 月新規学卒就職者の離職率」は短大卒で 44.6%（前年度より 2 ポイント上昇）である。



【B 幼稚園教諭・保育士・保育教諭】

【卒業生の在職状況】

幼稚園教諭・保育士・保育教諭 対象



幼稚園教諭・ 保育士・保育教諭	在職	1年以内で 退職	2年以内で 退職	3年以内で 退職	退職時期 不明
2024 調査 (2022 年 3 月卒)	77% 前年比 15%増	15% 前年比 1%減	5% 前年比 8%減	0% 前年比 9%減	3% 前年比 3%増
2023 調査 (2021 年 3 月卒)	62%	16%	13%	9%	0%
2022 調査 (2020 年 3 月卒)	68%	9%	9%	12%	2%

在籍率については、昨年度と比べ 15 ポイント上昇し、8 割近くとなっている。1 年以内で退職している割合は昨年度と同様 1.5 割程度だが、過去 2 年間と比べて 2～3 年以内に退職している割合は激減している。退職理由を見ると、思っている保育と違う様子が見受けられる。園見学をしたうえで受験は定着しているが、実習以外での保育体験や園見学などを周知していきたい。

②新卒採用の際に重視している点

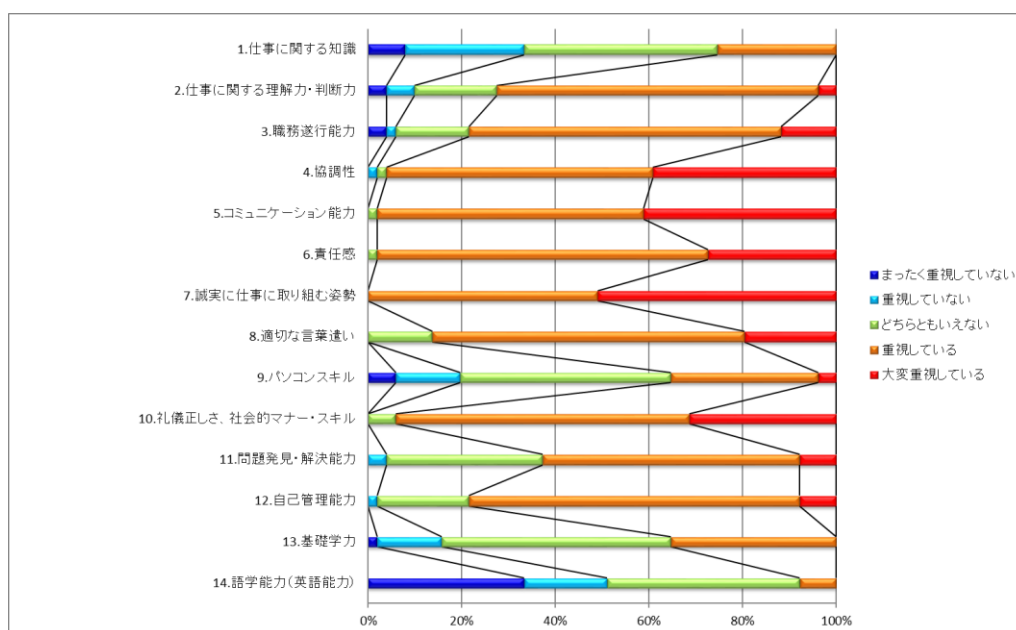
【A 企業・医療機関対象】

企業側 採用時重視する点 ベスト3

1. コミュニケーション能力 (昨年度1. コミュニケーション能力)
2. 誠実に仕事に取り組む姿勢 (昨年度2. 協調性)
3. 責任感 (昨年度3. 誠実に仕事に取り組む姿勢)

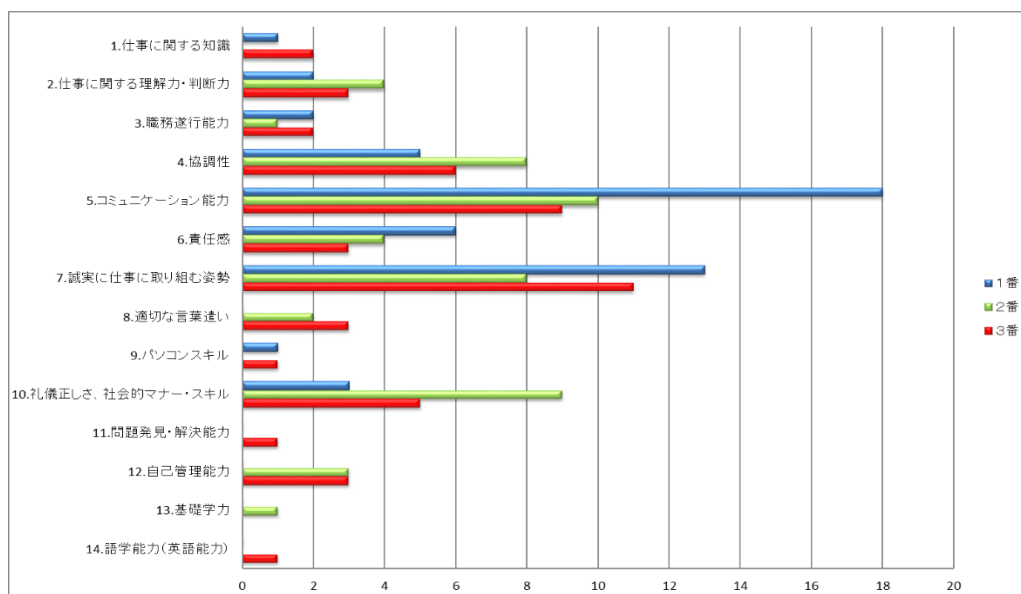
【新卒採用の際に重視している点】

企業・医療機関 対象



【重視する点 項目別回答ベスト3】

企業・医療機関 対象



企業が「大変重視している」項目は、7. 誠実に仕事に取り組む姿勢が 51.0%、5. コミュニケーション能力が 41.2%、4. 協調性が 39.2%、10. 礼儀正しさ、社会的マナー・スキルが 31.4%と上位を占める。「重視している」項目では、6. 責任感、12. 自己管理能力がともに 70.6%、2. 仕事に関する理解力・判断力 68.6%で上位を占めた。次に「大変重視している」「重視している」を合わせてみると、7. 誠実に仕事に取り組む姿勢が 100.0%、5. コミュニケーション能力、6. 責任感がともに 98.0%と高く、続いて、90%を超えている項目が 2 つある。4. 協調性が 96.1%、10. 礼儀正しさ、社会的マナー・スキルが 94.1%と、この 5 つの項目が採用時の大きなポイントを占めていることがわかる。

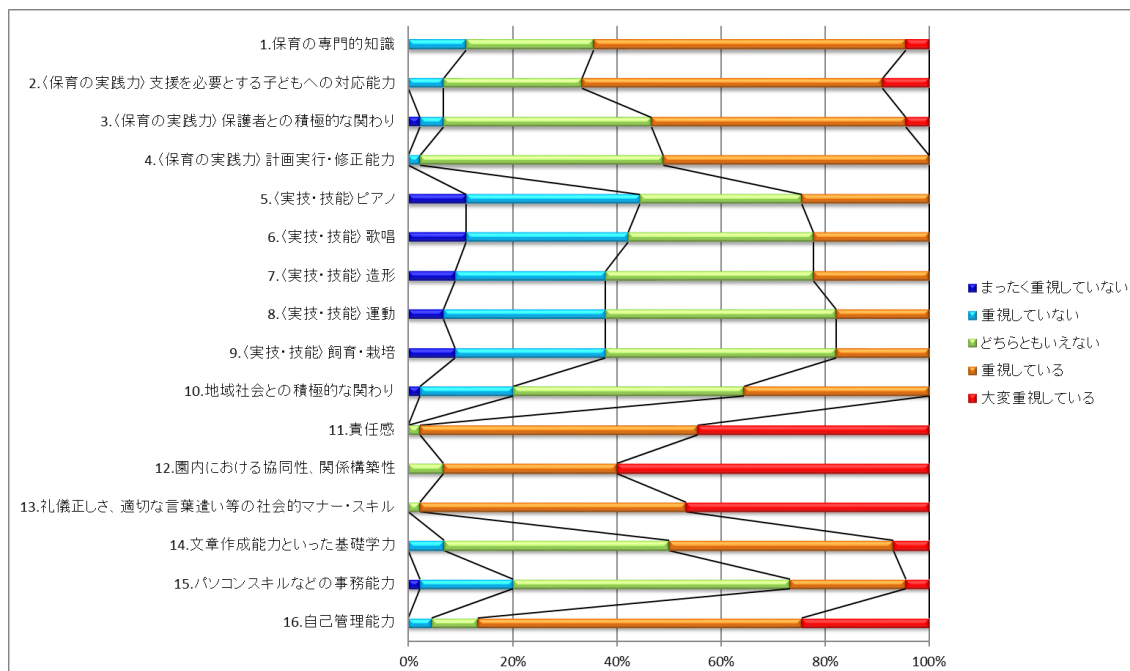
昨年度と同様、組織の一員として多様な人たちと関わるために必要な能力が求められる結果となった。

【B 幼稚園教諭・保育士・保育教諭 対象】

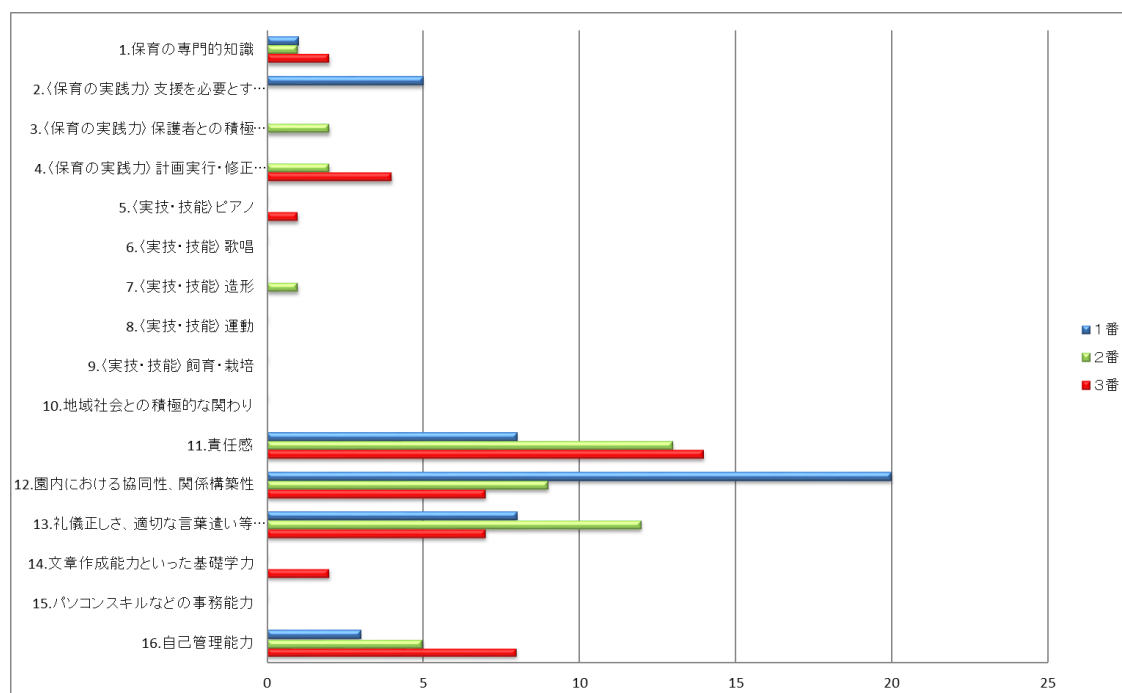
幼稚園教諭・保育士・保育教諭側 採用時重視する点 ベスト3

1. 園内における協同性、関係構築性 (昨年度1. 園内・・・)
2. 責任感 (昨年度2. 責任感)
3. 礼儀正しさ、適切な言葉遣い等の社会的マナー・スキル (昨年度3. 礼儀・・・)

【新卒採用の際に重視している点】 幼稚園教諭・保育士・保育教諭 対象



【重視する点 項目別回答ベスト3】 幼稚園教諭・保育士・保育教諭 対象



幼稚園・保育園・こども園等が「大変重視している」項目は、12.園内における協同性、関係構築性が60.0%、13.礼儀正しさ、適切な言葉遣い等の社会的マナー・スキルが46.7%、5.責任感が44.4%、16.自己管理能力が24.4%と上位を占めた。「重視している」項目では、16.自己管理能力が62.2%、1.保育の専門的知識が60.0%、2.〈保育の実践力〉支援を必要とする子どもへの対応能力が57.8%と上位を占めた。次に「大変重視している」「重視している」を合わせてみると、11.責任感が97.8%、12.園内における協同性、関係構築性が93.3%、16.自己管理能力が86.7%と高く、採用時の大きなポイントを占めていることがわかる。

保育者としての自覚を持ち、園児の見本となりうる人材か、また、先生同士で関係を築き責任をもって行動できるかという点を踏まえ、自己管理ができるかどうかを園や採用担当者は重視していると思われる。

③本学卒業生の評価

【企業・医療機関対象】

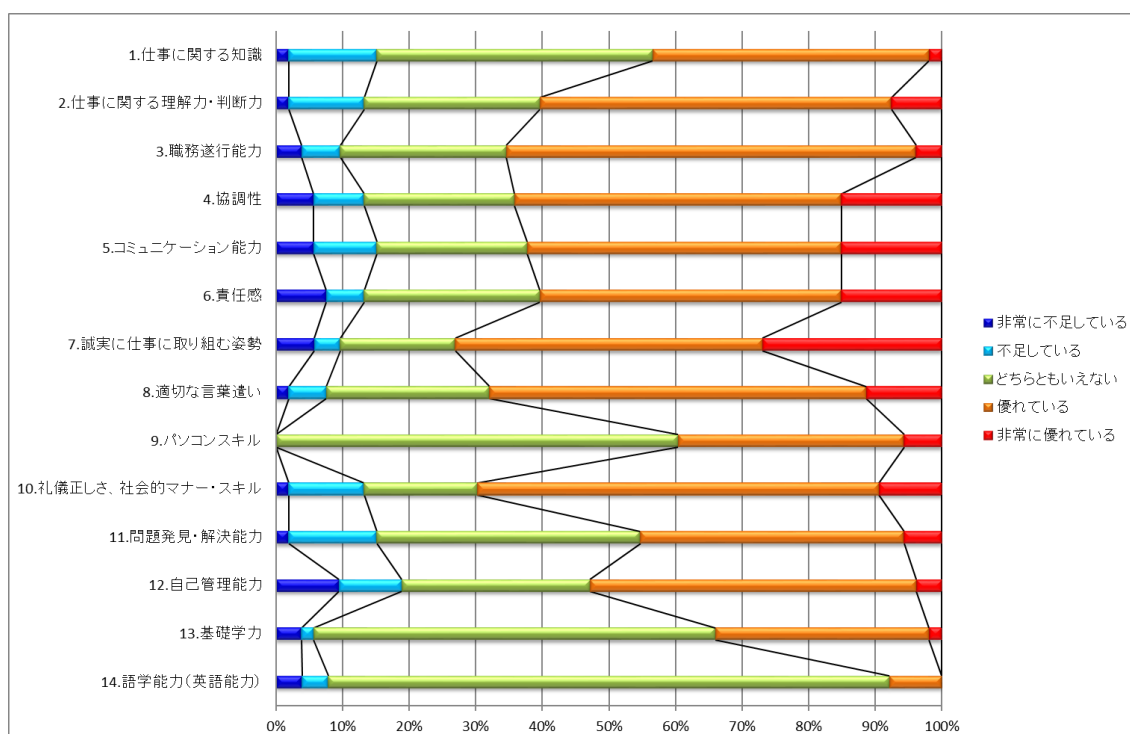
滋賀短期大学の在職者についての評価結果回答である。質問項目については、統計的に比較対照するため、短期大学生を採用する際の重点項目等と同様の質問内容で統一した。

本学卒業生の評価の非常に優れている点

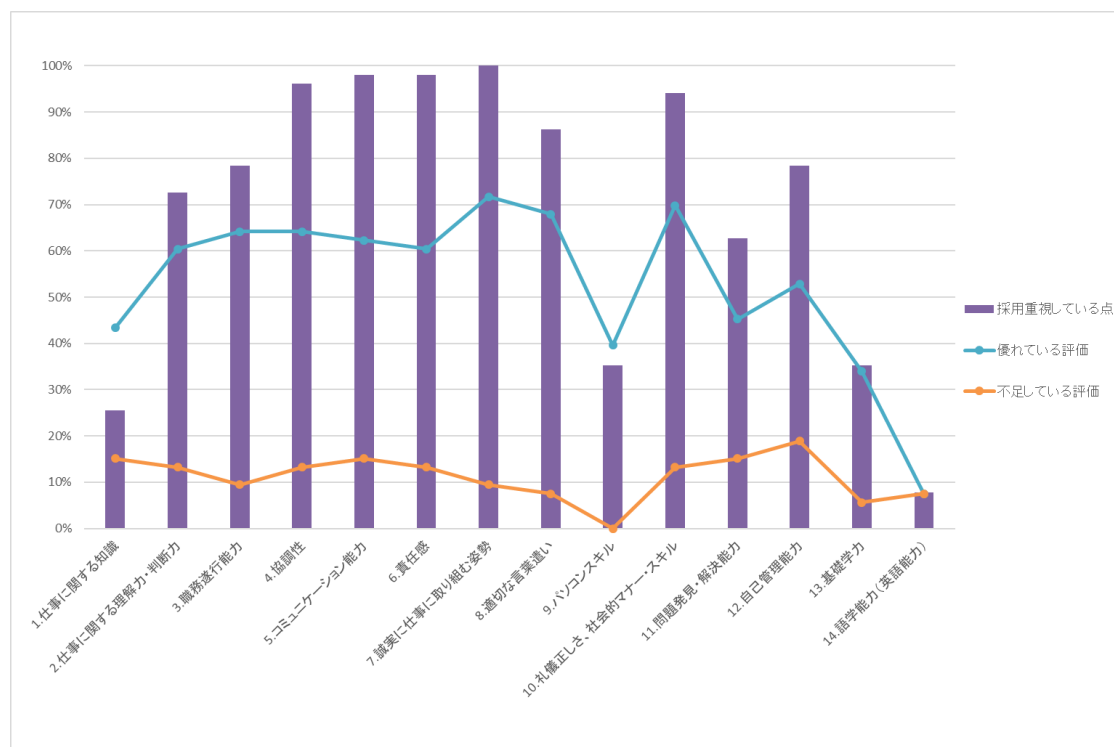
1. 誠実に仕事に取り組む姿勢（昨年度1. 誠実に仕事に取り組む姿勢）
2. 協調性（昨年度2. 協調性）
2. コミュニケーション能力（昨年度3. コミュニケーション能力）
2. 責任感

【滋賀短期大学在職者評価】

企業・医療機関 対象



企業が卒業生を「非常に優れている」と評価したのは、7. 誠実に仕事に取り組む姿勢が26.4%、4. 協調性、5. コミュニケーション能力、6. 責任感がともに15.1%という結果であった。「優れている」と評価された項目は、3. 職務遂行能力、10. 礼儀正しさ、社会的マナー・スキルがともに60.4%、適切な言葉遣いが56.6%という結果であった。一方「非常に不足している」「不足している」を合わせて見ると、12. 自己管理能力が18.9%、1. 仕事に関する知識、5. コミュニケーション能力、11. 問題発見・解決能力がともに15.1%という結果であった。また「どちらともいえない」で際立って多いのが、14. 語学能力（英語能力）81.1%、9. パソコンスキル、13. 基礎学力がともに60.4%で学生自身のスキルに関する項目であった。語学能力と基礎学力に関しては昨年度と同様だが、パソコンスキルが上位に入ってきた。以上から評価されているのは、仕事に取り組む姿勢であり、周りと協力して円滑に業務を行おうとする姿勢であるといえる。一方、今年度、評価の低い項目になった、自己管理能力についてはPDCAの力を身につけていく教育が必要である。



1. 仕事に関する知識と 9. パソコンスキルは、採用重視以上に優れている評価であった。不足している評価で見ると、12. 自己管理能力が一番低評価であった。自己管理能力の育成について、PDCA の力を身につけていく教育に加えて、自己分析をし自分を理解したうえで常に目標を設定し、高いモチベーションで物事に取り組めるよう SMART の法則（Specific（具体性：目標は具体的か？）、Measurable（計量性：目標のデジタル化）、Achievable（達成可能性：達成できるか？）、Relevant（関連性：目標との関連性があるか？）Time-bound（期限：期限を作っているか））の法則を活かした具体的な自己管理の目標設定等の方法を紹介し、自己管理能力を育成していきたい。

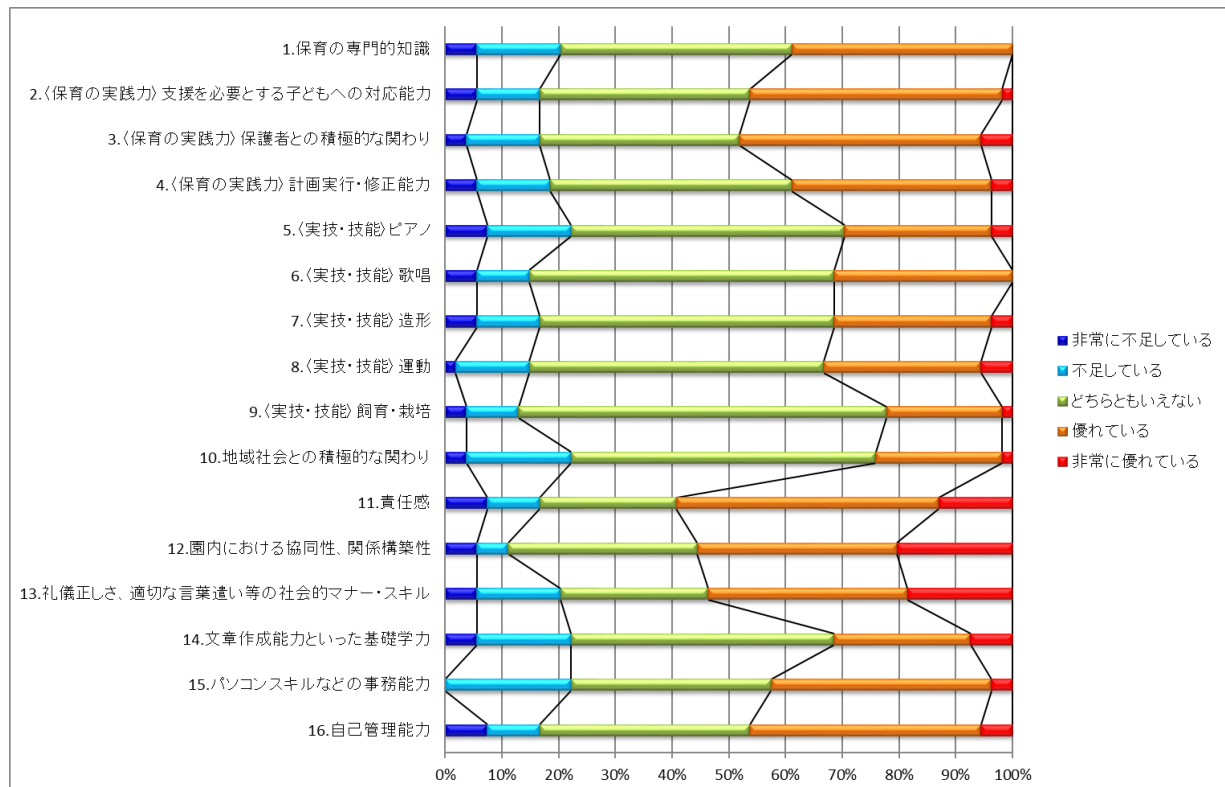
【B 幼稚園教諭・保育士・保育教諭対象】

本学学生の評価の非常に優れている点

- | | |
|------------------------------|---------------|
| 1. 園内における協同性、関係構築性 | (昨年度1. 園内・・・) |
| 2. 礼儀正しさ、適切な言葉遣い等の社会的マナー・スキル | (昨年度2. 責任感) |
| 3. 責任感 | (昨年度3. 礼儀・・・) |

【滋賀短期大学在職者評価】

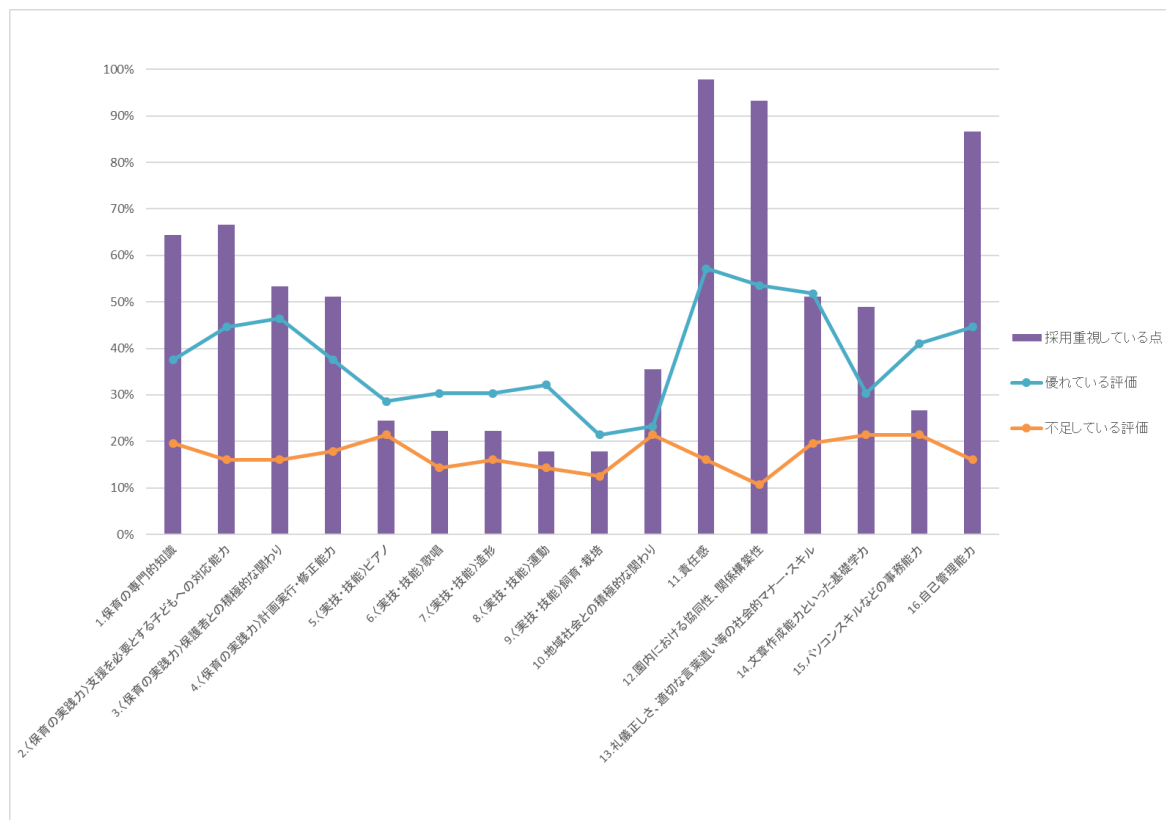
幼稚園教諭・保育士・保育教諭 対象



幼稚園・保育園・こども園等が卒業生を「非常に優れている」と評価したのは、12. 園内における協同性、関係構築性が19.6%、13. 礼儀正しさ、適切な言葉遣い等の社会的マナー・スキルが17.9%、11. 責任感が12.5%という結果であった。「優れている」と評価された項目は、11. 責任感が

44.6%、2. 〈保育の実践力〉支援を必要とする子どもへの対応能力が42.9%、3. 〈保育の実践力〉保護者との積極的な関わりが41.1%という結果であった。一方、「非常に不足している」「不足している」を合わせて見ると、5. 〈実技・技能〉ピアノ、10. 地域社会との積極的な関わり、14. 文章作成能力といった基礎学力、15. パソコンスキルなどの事務能力がともに21.4%という結果であった。また「どちらともいえない」で際立って多いのが、9. 〈実技・技能〉飼育・栽培62.5%、6. 〈実技・技能〉歌唱、10. 地域社会との積極的な関わりがともに51.8%で、優れているでもなく、物足りないでもない評価であった。

今回の結果は昨年度と比較して、社会的マナー・スキルがよくなり、実技・技能面が不足している評価であった。実技・技能面について、教育的点検を行い評価が上がるよう、教育に反映させていく必要がある。



5. 〈実技・技能〉ピアノ、6. 歌唱、7. 造形、8. 運動、9. 飼育・栽培といった実技技能、13. 礼儀正しさ、適切な言葉遣い等の社会的マナー・スキルや 15. パソコンスキルなどの事務能力が採用重視以上に優れている評価であった。全体的に優れている評価が不足している評価より、上回る結果となった。11. 責任感、12. 園内における協同性、関係構築性、16. 自己管理能力が採用重視している点で高い。

滋賀短期大学メッセージ

チャレンジ

出来る 素直 取り組む 活動
 子ども ほしい 能力 好き
 求める 持つ だけ スキル
 明るい 自分 おく 保育 大切
 力 思う 人 方 社会 等 協調
 挑戦 おる 的 性 ぬ 経験 学生 学ぶ しっかり
 関わる 生活 様々 たい コミュニケーション 良い
 失敗 働く 興味 アルバイト 元氣 くださる

滋賀短期大学イメージ

コミュニケーション

養成 真面目 教育 申し訳
 頂く 感じる イメージ 素直 入社
 人材 感じる 中 いただく 1 職員
 とても 様 おる 学生 方 ござる 卒業
 地域 人 ご思う 多い 印象 育成 者
 優秀 やや 活躍 さん 明るい しっかり 士
 誠実 大学 保育 生 貴校 校 経験
 元氣 卒業生 いただける